



日本女子プロゴルフ選手権大会 コニカミノルタ杯

9月7日(木)→9月10日(日) 安比高原ゴルフクラブ(岩手県)

大自然が織りなす絶妙の演出

丘陵コースで、広大な敷地に自然の地形と美しい白樺を巧みに生かしたコース。グリーンが難しいことで定評がある。要所要所に配置された池・バンカーが曲者。



申ジエ
1988年韓国生まれ。
韓国・米国にて賞金女王獲得。
現在日本女子ツアー賞金女王を目指し活躍中。

Par And Yardage

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Yards	400	350	450	150	515	370	370	185	410	3,200	6,640
Par	4	4	4	3	5	4	4	3	4	35	71
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Yards	410	550	395	440	175	405	370	180	515	3,440	
Par	4	5	4	4	3	4	4	3	5	36	

<初日> 今季国内メジャー第2戦。初の日本タイトル戴冠を目指しての戦いが始まった。予選ラウンドは韓国の1年先輩アン・ソンジュと、西山ゆかりという、今季優勝経験者トリオでのプレー。「フェアウエーも花道も狭いです。それにグリーン周りのライがまだらになっていてすごく難しい」と、警戒心たっぶりです。12時3分、10番ホールをスタートしたが、絶好のポジションに運んだティーショットからボギーを先行する苦しい立ち上がり。それでも14番パー3でバーディーを決めてスコアを戻すと、その後15番から5番まで我慢のパープレー、6番で2つめのボギーを献上するも7番、そして難度の高かった9番パー4でバーディーを奪い、1アンダー70、10位タイでの上々発進となった。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	—	—	—	△	○	—	○	-1	70
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	△	—	—	—	○	—	—	—	—	±0	(-1)

<二日目> 午前スタートだった2日目は、最難関ホールの3番・450ヤード・パー4で3オン3パットのダブルボギーを先行する波乱含みの一日に。続く4番パー3でバーディーを獲り返したものの、この日は8番と16番でもダブルボギー。なんと3バーディー、3ボギー、3ダブルボギーの77とスコアを大きく崩す展開となった。「8番はグリーン周りのラフの中のディボット跡の砂に沈んで…。16番はセカンド右ラフから木がスタイミー、グリーンを狙うことができなかった。1ラウンド中にダブルボギー3つはプロになってから初めてです。さすがにショックでした。まだチャンスはあると自分に言い聞かせながら回ってきましたけど、よくなるまま終わってしまった。風も吹いたし、ラフが湿っていたので出せないです。…やっぱりメジャーですね。でも、失敗は今日のラウンドで全部出し切ったと思って、あと2日間、最後まであきらめずに頑張ります。コースの難度が高いのでこういうこともあるんだろうなと思います」と話した。通算5オーバーの48位タイで辛くも予選通過。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	□	○	—	△	○	□	—	+3	77
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	—	△	○	△	□	—	—	+3	(+6)

<三日目> 3日目は会心の一日となった。ラウンドを終え「よく頑張りました〜！」と笑顔。インコースからのスタートだったが、10番で残り165ヤードの第2打を6番アイアンでピンそば50センチに。11番では4メートルのチャンスをものにして連続バーディーのロケット発進。12番こそ3パットで唯一のボギーとしたものの、アウトコースに折り返して2番で8メートル、4番で6メートルの長いパットを沈めてバーディーを追加した。4バーディー、1ボギーの68。一気に通算スコアを2オーバーまで戻し、首位と5打差の10位タイに急浮上した。「昨日のリベンジ? そうですね。昨日も一昨日もパット数が30をきれなかったけど、今日は29。思い切って新しいパターに替えてみたのが成功しました。小さくて傾斜のきついグリーンなので、上りのラインと下りのラインのスピードのギャップが大きく、距離感を出すのが難しいんです。今日はけっこうショットがよかったので、その感じを維持して明日も一生懸命頑張っていきたい。メジャーセッティングの中ではチャンスを待って、少ないチャンスを確実につかんでいくことが上に行く条件だと思う。明日、ベスト5には入って終わりたい。アンダーパーで回れば、それができるかなと思ってます」と「ファイナルラウンドクイーン」の笑みを見せた。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	○	—	○	—	—	—	—	—	-2	68
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	○	○	△	—	—	—	—	—	—	-1	(-3)

<四日目> 濃霧、そして雷雲接近のためスタート時刻が3時間50分遅れ、12時10分にティーオフ。10番まで1バーディー、3ボギーとスコアを落としたが、14番、17番のパー3で2バーディーを奪い、この日パープレーの71でフィニッシュ。とくに17番(180ヤード)では、ロフト20度のユーティリティでピンそば3メートルにつけ、この日のスコアをオーバーパーからパープレーに戻し、勝負強いところを見せた。最終成績は通算2オーバーの14位タイに。「頑張りました。もうちょっと行けたかなと思うところもあるけど、今日はスタートから待たされたり、リズムを崩された部分もあったので…。いいプレーができそうな予感があったんですけどね。でもパープレー。いいゴルフだったと思います。それにしてもこのような天候の中、こんなにたくさんのギャラリーが来てくれるとは思わなかった。岩手でトーナメントを開催する機会が少ないせいもあるのか、とと一生懸命応援していただけ。幸せな気分になりました。その中で最終日、納得できるプレーでまとめられてよかったです。最終18番は傾斜のきついパットが残ったけど、1メートル半のパーパットを入れて終わることができ、うれしかったです。一週間滞在した岩手・安比高原に「毎日きれいな露天風呂に入って、癒されました。スキーはやったことがないですけど、冬の季節にも一度訪れてみたい場所だなと思いました」と語っていた。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	△	—	○	—	—	—	△	+1	71
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	△	—	—	—	○	—	—	○	—	-1	0

Full Leader Board

RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total	RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total
1	李 知姫	-5	70	72	68	69	279	4T	柏原 明日架	-1	67	71	75	70	283
2	イ ミニョン	-3	70	71	71	69	281	7T	葎葉 ルミ	0	73	73	69	69	284
3	東 浩子	-2	71	67	72	72	282	7T	鈴木 愛	0	69	73	71	71	284
4T	川岸 史果	-1	71	70	75	67	283	:	:	:	:	:	:	:	
4T	比嘉 真美子	-1	71	73	72	67	283	14T	申ジエ	+2	70	77	68	71	286